

## 別記様式

## 議 事 録

会議の名称	平成29年度第1回岩倉市地域公共交通会議
開催日時	平成29年5月15日(月)午後2時5分から午後3時40分まで※名鉄電車遅延のため5分遅らせて開始
開催場所	岩倉市役所7階 第1委員会室
出席者 (欠席委員・説明者)	中部大学 磯部委員、名鉄バス株式会社 近藤委員、名鉄西部交通株式会社 久留宮委員、愛知県タクシー協会 松浦委員、中部運輸局愛知運輸支局 杉本委員、愛知県 桑原委員(塚崎代理)、愛知県一宮建設事務所 八森委員、江南警察署 山田委員、区長会長 浅田委員、民生委員児童委員協議会代表 河村委員、老人クラブ連合会代表 赤堀委員、公募 太田委員、岩倉市長 久保田委員 欠席委員：愛知県バス協会 古田委員、名鉄西部交通労働組合 大野委員 事務局：山田総務部長、佐野秘書企画課長、小出統括主査、渡邊主任、小松協働推進課長、小崎統括主査、早川主任
会議の議題	(1) 岩倉市デマンド型乗合タクシーの実績報告について (2) 岩倉市デマンド型タクシーの利用促進の取組について
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他( )
会議に提出された資料の名称	・次第 ・岩倉市地域公共交通会議委員名簿 ・岩倉市地域公共交通会議条例 ・デマンド型乗合タクシーの実績(平成29年3月まで) ・デマンド型乗合タクシーの利用促進の取組について ・アンケート ・利用促進の取組周知用ポスター(アンケート用) ・利用促進ポスター(車内掲示用) ・活発で良い議論ができる会議のために(パンフレット)
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	3人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 開会

2 委嘱状交付

3 委員自己紹介

4 市長あいさつ

市長よりあいさつ。

5 会長の選出

昨年度まで会長であった磯部委員の再任。

6 会長職務代理者の選出

浅田委員を指名。

7 会長あいさつ

会長よりあいさつ。

8 報告事項

参考資料：活発で良い議論ができる会議のためについて、小出統括主査から説明  
資料3について、小崎統括主査から説明

（1）岩倉市デマンド型乗合タクシーの実績報告について

杉本委員：資料3の（6）曜日ごとの予約数について、3月の月間件数として570件とあるが、曜日ごとの予約不成立件数が分かれば教えてもらいたい。

事務局：本日の資料としては持ち合わせていない。

杉本委員：570件は予約が成立した件数か。また、予約不成立25件というのは、申込があつたが、乗車の予約ができなかった件数か。

事務局：そのとおりである。

近藤委員：実利用人数の平均とはどういう意味か。年間をとおして190人がアクティブな利用者だったという意味か、12か月の平均値が190人になるのか。登録者数が1,866人いる中で、何人が実際に利用したのかを知るには何を見たら分かるのか。

事務局：実利用人数の平均は12か月の平均値である。実利用人数は実績資料3の（5）に記載してあるが、平成28年度実績の資料は用意していない。

磯部会長：年度の実利用人数も資料としてであると良い。

磯部会長：資料3（10）の事業に係る委託料を乗車人数で割ると1回の運送につき約1,900円の経費がかかっていることが分かる。高いと見る人も安いと見る人もいると思うが、目標の40人を達成すれば1回あたりの運送経費は当初予定していたとおりになるが、目標に及んでいない。一方で予約不成立の件数もあるが、成立させるためにデマンドタクシーの台数を増やせば経費が更に増えることになる。これを解決するためにこれから新しい取組の説明があるので委員の皆様にご意見を聞きたい。

資料4～参考資料3について、小崎統括主査から説明

（2）岩倉市デマンド型タクシーの利用促進の取組について

磯部会長：昨年さくらの家で行った取組を、今年は図書館で行うということかと思う。昨年との違いは、需要のある時間帯を調査した上で行うことである。人の動きというのは、乗り物に合わせて動くというのは難しいものがある。乗車システム以外の工夫も含めて考えていかなければいけないかもしれないが、何か意見はないか。

浅田委員：今あるデマンドタクシーを2台から1台にしてはどうか。1回の運行に1,900円も経費がかかるのであれば、市内で利用する分には、予約できなかった利用者にタクシーを使ってもらい、自己負担を300円にして残りを補助する方が安く済むのではないか。

松浦委員：そのような考え方もあるが、デマンドタクシーを1台にすると朝の予約にはとても対応できない。また、民間のタクシーも朝の台数はそれほど多くないかと思うので、午前中に病院に行きたい人たちが交通手段の確保をできなくなるのではないか。

磯部会長：午前中に混む理由は通院に使う人が多いからという分析かと思うが、病院は日中も夕方からもやっているところがある。分散すれば解決するかと思うが、利用者の都合もあるのでいろいろと考えなければならない。

松浦委員：運転免許証を返納した1回目にチケットを支給するのでは少ないのではないか。半年か1年に1回で支給したらどうかと思う。

事務局：すこやかタクシーの助成は毎年実施しているが、今の免許返納者への支給は免許返納のきっかけという意味である。高齢者の足の確保ということであれば、検討するのも良いかと思う。

太田委員：返納者は高齢者がほとんどかと思うが、継続してチケットを支給するということであれば、最初から免許証を持っていない人との公平性を欠くという課題もある。

河村委員：現時点までに免許を返納して登録されたのが31名（チケットにして310枚）なのに対し、使用されたチケットが89枚ということはあまり利用されていないということか。

事務局：そのとおりである。

河村委員：就学前児童263人の年齢分布は分かるか。

事務局：今日は資料を持ち合わせていない。

河村委員：民生委員も「赤ちゃん訪問」の際にPRしている。実績が分かれば協力もしやすい。

磯部会長：利用者はデマンドタクシーにメリットを感じているので、そういう方の意見を広報紙等でPRするのも良いかと思う。

浅田委員：平成27年度に免許返納者に270枚の無料チケットを交付して、平成28年度末の免許返納者の登録数が31人ということは、平成28年度には4人しか免許返納で登録した人がいないということか。

事務局：31人という数字は登録の申請用紙に登録用件「免許返納者」にチェックを入れ申請した累計数（本格運行開始から）であり、平成27年度からは13人増加している。無料チケットの交付枚数があわない点は整理して報告する。

上記の報告（公共交通会議終了後追加）：

平成28年度に免許返納者に交付した無料チケットは350枚であるが、その内訳は新規の登録者だけでなく、すでに登録済みの方も含め35人に交付していることになる。

赤堀委員：資料3（3）の平成29年3月の乗車人数と（6）の予約数の数が違うのは1度の予約で複数人が乗車したためか。また、予約数の少ない月曜や火曜の13時や14時台は全く稼働しないこともあるかと思うがそういったことは把握しているか。

事務局：そのとおりである。予約と稼働の状況は把握しているため、そういった時間帯があることも承知している。

赤堀委員：稼働のない時間帯はルート運行にする等の工夫ができるのではないか。

松浦委員：ルート運行のひとつとして、市民プラザから自宅便を提案しているのかと思う。

赤堀委員：特定の施設限定ではなく、定期便のようなイメージである。デマンド型ではないので難しいかもしれないが、1ヶ所に車を止めていると休憩していると見る人もいる。

事務局：昨年度のさくらの家で試行した施設から自宅の運行は、需要のある時間に実施できていなかったことからあまり実績があげられなかった。今回は事前に調査したうえで取り組んでみたい。

赤堀委員：平均乗車人数には最初から二人で乗車する場合も含めているかと思うが、途中から相乗りするケースにしぼった相乗り率は分かるか。

事務局：今日は資料を持ち合わせていない。

赤堀委員：デマンド型乗合タクシーを始めた当初は、相乗りすることで乗車人数を計算していたと思うが、もっと相乗りができるよう工夫してはどうか。

市長：岩倉市の特徴として、市域が狭いため相乗りする前に目的地に到着したり、相乗りするために到着が遅れたりすることが課題になる。また、市の面積の広い小牧

市であれば特定の施設に向けて市内中から集まってくる傾向にあるが、岩倉市は目的地も分散しているため、乗合や定期路線には向いていない。

河村委員：岩倉病院は行きの利用の数の割に帰りの利用が少ない。帰りの時間が読めないことによるものか。

事務局：そのとおりである。

浅田委員：行きはデマンドを使ってもらい、帰りはすこやかタクシーチケットを使ってもらって上手く共存できるのではないか。

河村委員：今回は市民プラザから自宅の利用促進を試みるということだが、資料3(9)を見ると図書館・市民プラザを目的地にする人はいるようだが、帰りに利用する人は多くないように思う。もっと帰りの利用が多い生涯学習センターのような施設で実施する方が良いのではないか。

事務局：行きで使っている18件というのは1人で18回利用している。他の施設利用者にもPRするために、今回は図書館・市民プラザで実施することにした。

磯部会長：いろいろな公共施設で試してみることも必要である。

## 9 その他

杉本委員：今回の会議ではデマンド型乗合タクシーについてであったが、岩倉市は路線バスも走っており、重要な市民の足として定着しているかと思う。岩倉市から小牧市や一宮市に走る幹線路線には国や県の補助が入っている場合もあり、利用状況を把握しておくことは大切である。名鉄バスさんのご協力をいただき、地域公共交通会議で利用状況等を把握していきたい。

磯部会長：岩倉市地域公共交通会議の所掌事務は、デマンド型乗合タクシーのみではなく広く公共交通に関することである。国や県の補助金の入っている路線バスについては国等がチェックをしているが、実際に市民に意見を聞く場がないので、こうした地域の公共交通会議に期待している。身近な市民の皆さんからの発言をお願いしたい。

事務局：次回会議は11月後半あたりで調整し、連絡をさせていただく。

上記のとおり、岩倉市地域公共交通会議の経過及びその結果を明確にするために、この会議録を作成し、ここに署名します。

平成29年6月2日

岩倉市地域公共交通会議

会長

磯部友彦

